

The Little black book of lighting  
**For Film and Video**



## Index to Kino Flo Lighting Handbook

Introduction to Lighting with Kino Flos . . . . .	2
Kino Flo Products . . . . .	4
Lighting Interviews . . . . .	6
Broadcast Studio Lighting . . . . .	10
Chromakey and Visual Effects Lighting . . .	16
Tabletop Lighting . . . . .	21

# Introduction to Lighting with Kino Flos

世界には2つの種類の光があります。強い光とやわらかい光です。キノフロの光は常に熱のないやわらかい光です。キノフロは目に優しく被写体をひき立て、容量も食わず多才で機動力に勝っています。まるでカポックでバウンスさせた太陽の光の様であり、ソフトボックスでディフューズされたタングステンライトの光の様でもあり・・・  
違うのはこの **"little black book of lighting"** が役立つことでしょう。

## Lighting Tips

キノフロは従来の白熱光を発するパーライト等にかわる軽量で省エネタイプの照明器具です。ゴールは現実に見えるように、フィルムやビデオのシーンを写し出すことです。光の質は影がハードかソフトかで特徴づけられます。

照りつける太陽の光がくっきりとした樹木の影を地面に形造るような強い光もあれば、太陽光が雲でディフューズされて出来るやわらかい影もあります。よりソフトなライティングの最初のステップは、照明器具の置き方です。どこにどう置くかが重要なポイントになります。キノフロをより被写体に近づけると、よりソフトな効果が得られます。また、離れれば影はシャープになって行きます。

ライティングの手法は目的やシーンによって異なりますが、ベーシックは同じです。以下の3つが基本になります。

## Key lighting

メインとなる光源をキーライトと呼びます。キノフロは被写体に近づければ近づける程、ディフューズされたソフトな光の束をもたらします。フレネルスポットのようなハードライトはシャープな影を造り出します。どちらも目的と好みで決められます。

## Fill lighting

キーライトの影を薄めるのがフィルライトです。しばしば小さめのキノフロが使用されます。キノフロを垂直方向に立てると横よりも若干強いビームを放ち効果的です。

## Separation lighting

ハイライトとも言われます。セパレーションライトは被写体を引き立たせてバックより浮き上がらせます。通常は被写体の上か後ろからあてます。



### Diva-Lite200/400

ロケーション & スタジオ

コンパクトボディーで調光が可能、  
特にインタビュー用ライティングに。



### 4Bank システム

ロケーション & スタジオ

4ftと2ftの4Bankは多才な器具。

キーに、フィルに、クロマキーにそして  
セットのライティングに。



### Kamio リングライト

カメラのレンズまわりに取り付けて

12Vで点灯できます。調光可。

ニュースリポートのアップに。



## ParaBeams DMX

スタジオ用

やわらかく強い光でTVのセットやフィルム、ビデオの製作に。

フィルム、フォト、ビデオのキー・フィルライトにも。



## Image 85 DMX

スタジオ用

キー・フィル・クロマキーそしてビジュアルエフェクトのブルースクリーンライティングに。



## Image 45 DMX

スタジオ用

キー・フィル・クロマキーそしてビジュアルエフェクトのブルースクリーンライティングに。

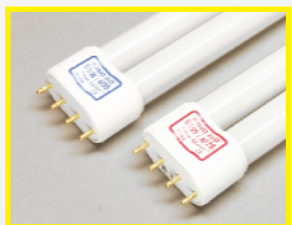


## True Match T12 Lamps

フルスペクトラムの高出力。

デーライトとタンゲステン色のキノフロオリジナル蛍光管。

4BankやImage用に。



## True Match Compacts

フルスペクトラムの高出力。

デーライトとタンゲステン色のキノフロオリジナルU字蛍光管。

Diva-LiteやPara Beam用に。

## Lighting Interviews

ロケまたはスタジオで

プロのビデオ製作ではロケまたはスタジオインタビューのライティングにキノフロ Diva-Lite や 4Bank がよく使われます。なぜなら多才で熱が少なく、軽量でセットアップが易しく省エネタイプの照明器具だからです。そのソフトライトの質はアカデミー賞技術部門賞受賞のおりがみ付です。

### Divas-Lites vs 4Bank Systems

Divas-Liteはコンパクトでポータブルなバラスト・ディマラー一体型のロケにもって来いの照明器材です。光量は Divas-Lite400(蛍光灯4本型)で1KW相当の白熱灯に匹敵し、わずか2(A)しか消費しません。キーライトとして最も多く使用され、被写体より3ftから8ftの距離であります。キットにはフロッジャーと呼ばれるディフューザーが含まれ、よりソフトなライティングも可能です。

小型の2灯用Divas-Lite200はフィルライトとしてよく使用されます。

4Bankは長管を4本使用し、Divas-Liteよりもさらにソフトで広がりのあるライティングが可能です。Divas-Liteより大きいものの、より多才でバラストが別置きのため、灯具自体はとても軽く扱いが易しいです。

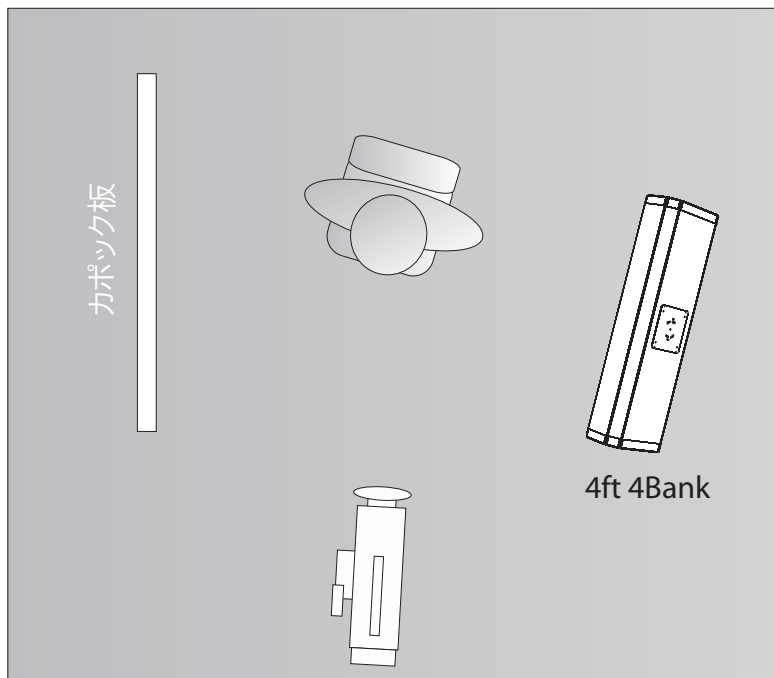
天井にテープで張り付けることもでき、狭い場所ではランプのみ灯具より取り外して点灯もできます。

使用器材

4ft 4Bank × 1台

トータル電流値 5.2(A)

## Interior Interview



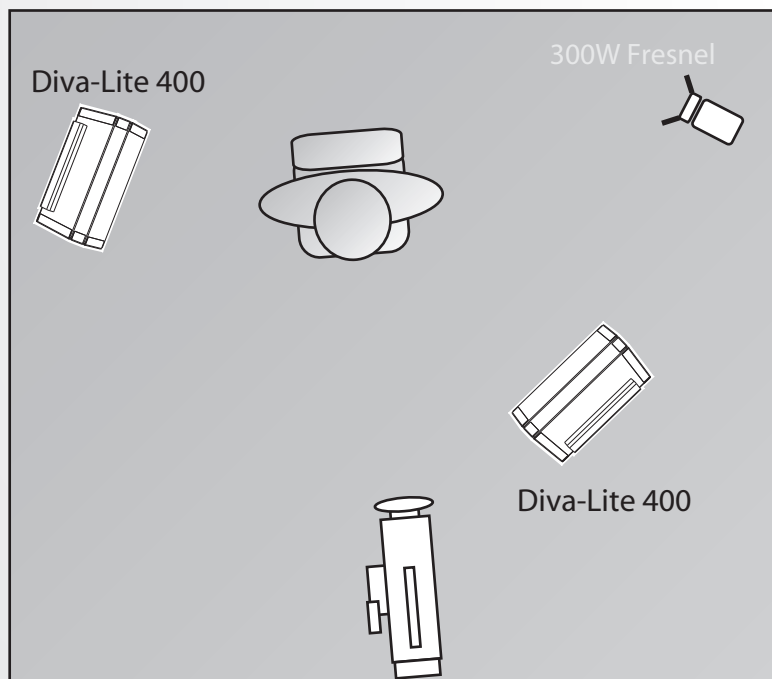


使用器材

Diva-Lite400 × 2台

トータル電流値 4.8(A)

## Interior Interview



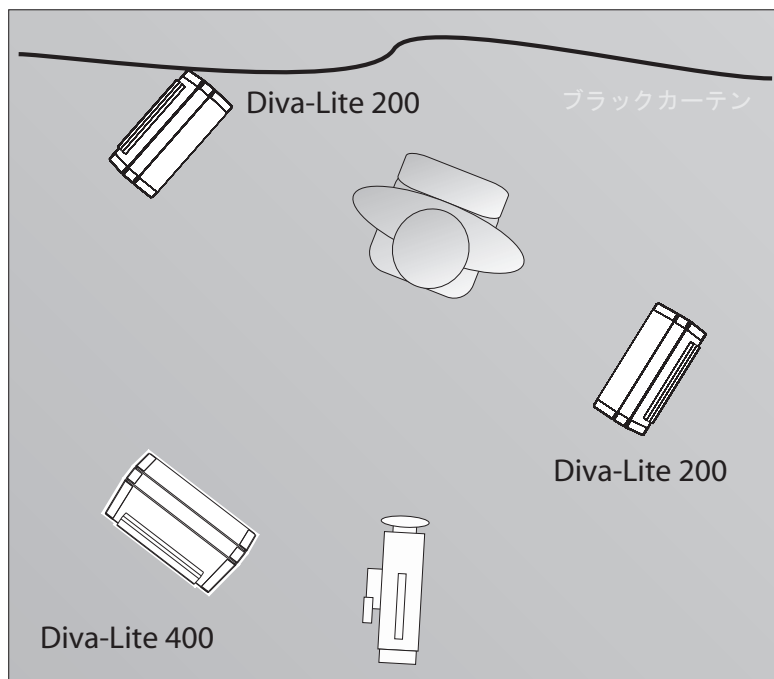
使用器材

Diva-Lite200 × 2台

Diva-Lite400 × 1台

トータル電流値 5.1(A)

Portrait Style Lighting



## Broadcast Studio Lighting

従来の発熱量の高い照明に変わる物を探しているライティングデザイナーは、TVニュースのセット照明にしばしば Kino Flo True Match® Studio Lightingを選択します。HDやデジタルスタジオカメラ用にチューンされたキノフロの光は、スタジオのサイズにかかわらず、リッチで色バランスのとれた高画質をもたらします。それも10分の1のランニングコストで。

4人掛のニュースデスクをあてるのに、吊下げ高さや被写体からの距離にもよって、3台から6台のキノフロが必要です。サイドのフィルライトは2台で十分です。後ろからのセパレーションライトにはキーライトと同数が適当です。

## Choosing Lights for the Studio

天井が低い(8~12ft)スモールスタジオにはパラビームやパラジップがベストの選択です。15ftの距離から被写体をあてられます。さらにタイトスペースで天井も8~9ftで被写体も1人か2人の場合は、2灯用のパラビーム200やパラジップ200がベストです。

天井高10~14ftの中サイズのスタジオでは、キー・フィル・セパレーションのコンビネーションが、パラビーム・パラジップ400やイメージ45/85で効果的に造り出せます。

キノフロはしばしば色のバランス、深み、コントラストを強調するために小型のハロゲンライトと併用されます。ランプ寿命は、ハロゲンランプの300時間に対して10000時間以上のうえ、エアコンも含む電力消費を抑えられます。

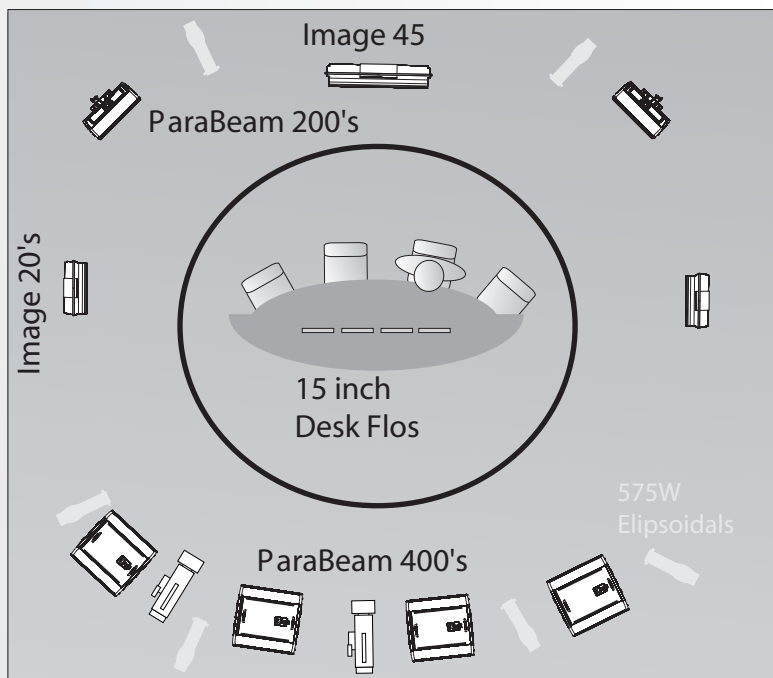
例えばパラビーム400は10分の1のパワーコストで2KW白熱灯と同等の光量を生み出します。

使用器材

イメージ20	×	2台
イメージ45	×	1台
パラビーム200	×	2台
パラビーム400	×	4台

トータル電流値 20.3(A)

Studio: Parabeam and Image Fixtures



使用器材

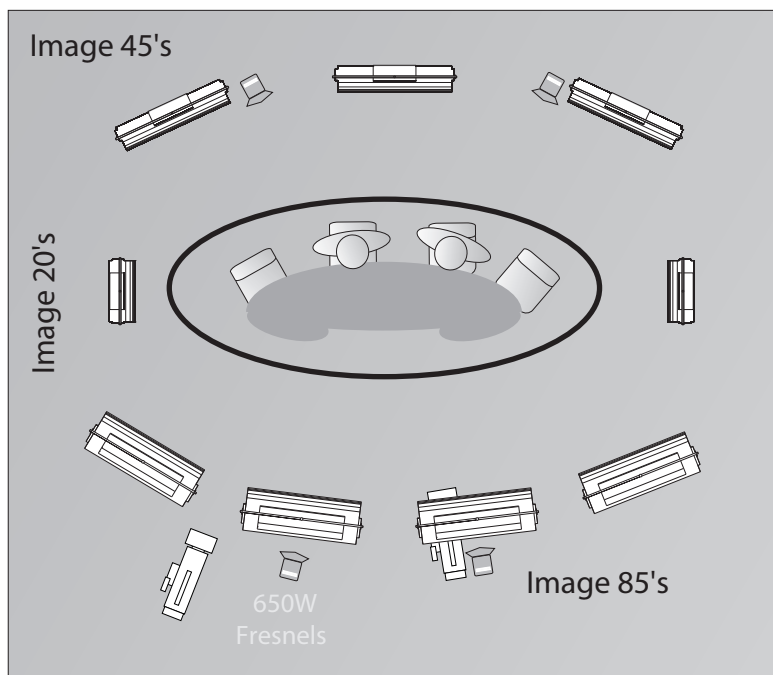
イメージ20 × 2台

イメージ45 × 3台

イメージ85 × 4台

トータル電流値 50.0(A)

Anchor Desk: Image Fixtures

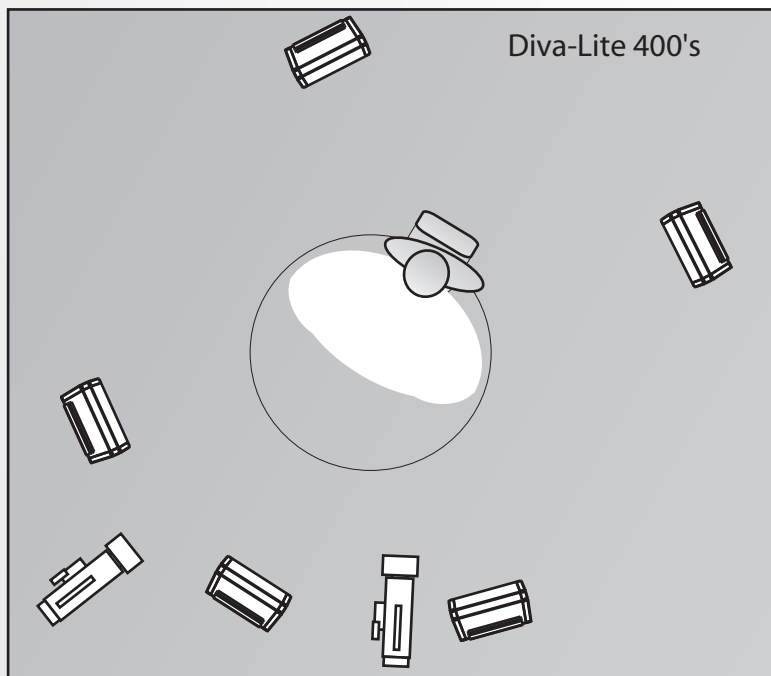


使用器材

Diva-Lite400 × 5台

トータル電流値 12.0(A)

### One Person News Desk



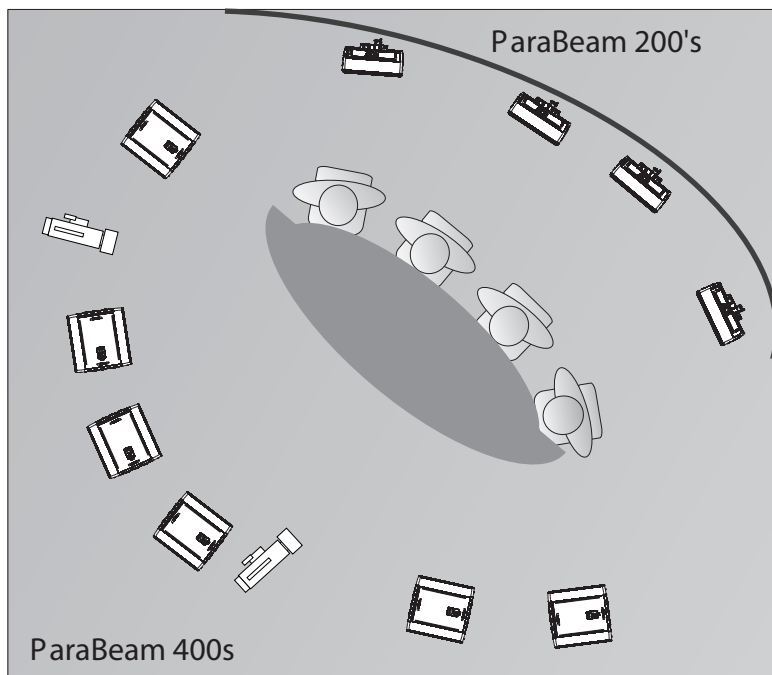
## 使用器材

パラビーム200 × 4台

パラビーム400 × 6台

トータル電流値 19.7(A)

## Anchor Desk: ParaBeams





## Chromakey and Visual Effects

クロマキー、バーチャルスタジオ、ブルースクリーン、グリーンスクリーン

ビジュアルエフェクト撮影のためのライティングは、TVの小さな天気予報用クロマキーセットであろうと、映画の巨大なブルースクリーンのステージであろうと3つのルールを守る事にはじまります。

▶ スクリーンに上から下、右から左と光を均等にあてます。

▶ セットに光を適度な色の強さであてます。

▶ 前方の被写体からバックの色を切り離します。

キノフロのイメージ85と45、さらに4ft 4Bankシステムはフィルム又はビデオ製作において、ベストなビジュアルエフェクトをもたらします。

3つのルールを守るためにキノフロをウォールセットに向けて、およそそのウォールセットの2分の1の距離に吊ります。例えば、もしクロマキーウォールが12ftの高さであれば、ウォールからおよそ6ft前の位置にキノフロを並べます。これはフィルムセットにおいても同じです。

灯体間の距離は通常ひとつの灯体の中心から隣の灯体の中心までで5から8ftです。

並べる灯体の数および列の数は、どれほど明るく色を反射させたいかによります。灯具の数が増えればグリーンはより明るいグリーンに、ブルーはより明るいブルーになります。

## Visual Effects and True Match Lamps

フィルム撮影でベストな色の強さを造り出すために、通常キノフロのブルーまたはグリーンランプが使われます。この時ステージはスクリーンより離すことで、前方への色の散らばりを避けます。

ビデオ撮影ではキノフロ 3200Kまたは5500Kランプが良いでしょう。どんな色のウォールでも均等にあてるのが現実的です。もし前方がグリーンやブルーで汚れるようであれば、後方からのセパレーションライトを使い被写体を洗い流してください。

## 使用器材

イメージ45 × 8台

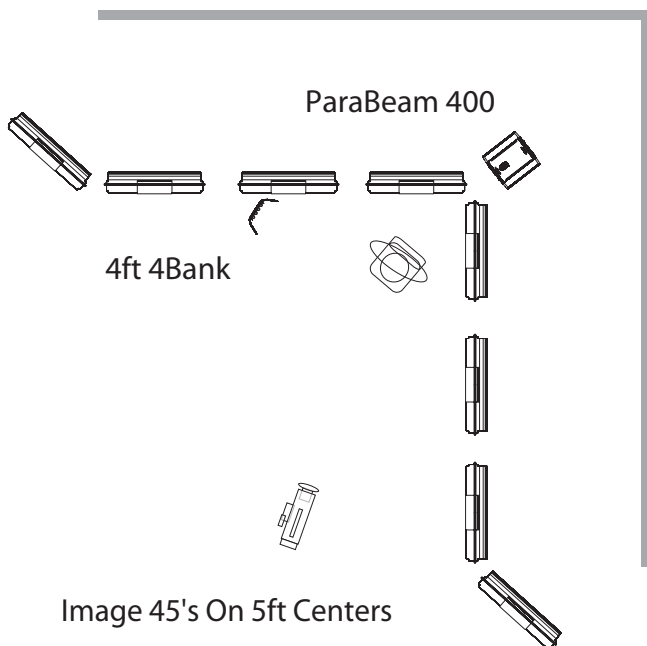
パラビーム400 × 1台

4ft 4Bank × 1台

トータル電流値 39.6(A)

## Virtual Studio

### Top View



使用器材

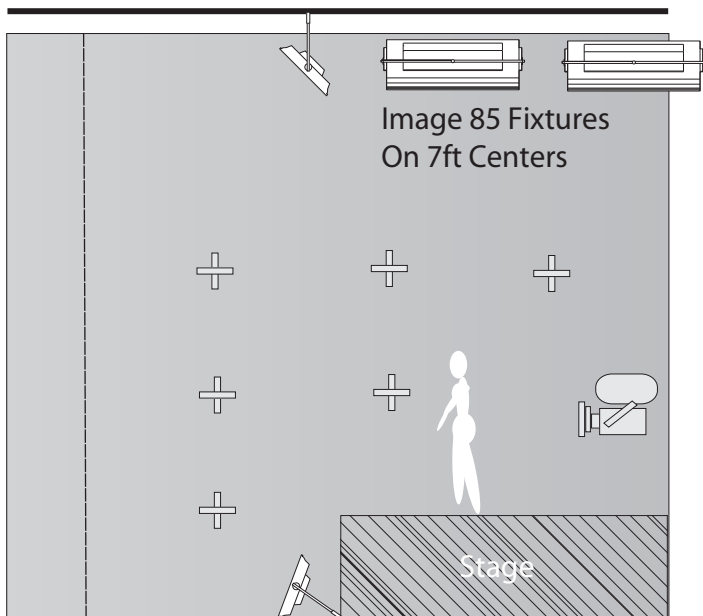
イメージ85

× 灯数はウォールの大きさにより異なります。

1台当たりの電流値 8.5(A)

## Bluescreen Stage

Side View



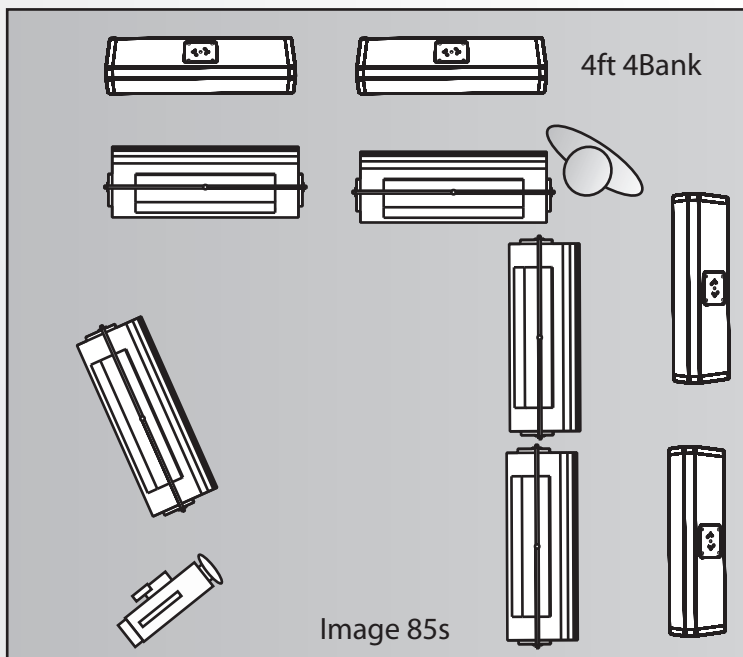
使用器材

イメージ85 × 5台

4ft 4Bank × 4台

トータル電流値 63.3(A)

Image 85 cyc lights; 4Bank separation lights



## Tabletop

テーブルトップライティングにおいても、使われる器材はより大きなセットのライティングの時と変わりません。キノフロの Diva-Lite や 4 Bankがメインのソフトキーとしてベストです。

従来の照明器具と違いキノフロは発熱量が少ないので、長時間あててもテーブル上の品物やオペレーターに影響しません。

True Match® ランプの演色性の良さは、高いレベルでの色の再現を保障します。

芸術の製作スタジオや美術館でも、値段のつけられない貴重な作品の撮影にキノフロランプが使われます。なぜなら美術品にあたる有害な紫外線が、セーフティーコーティングチューブによりカットされているからです。

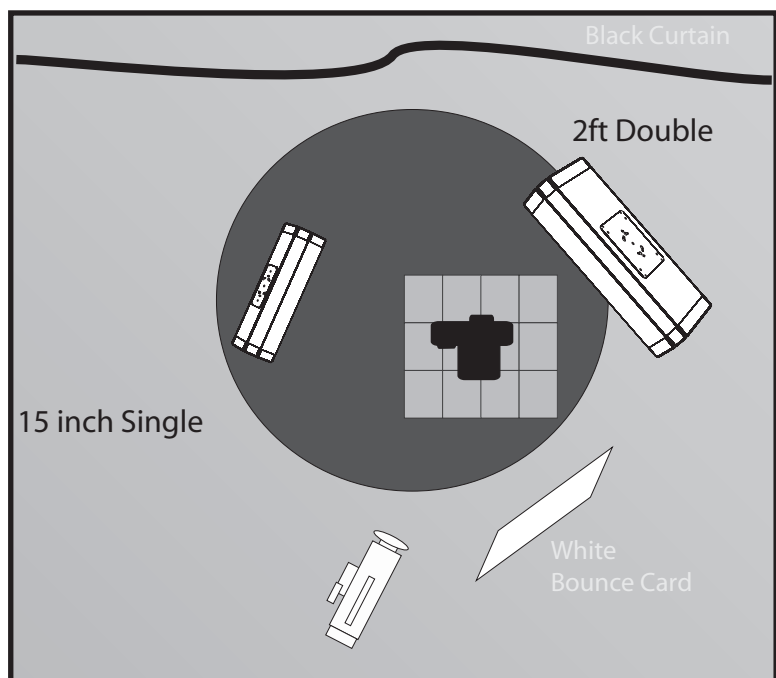
使用器材

2ft ダブル × 1台

15インチシングル × 1台

トータル電流値 3.5(A)

Table Top: Dark Object

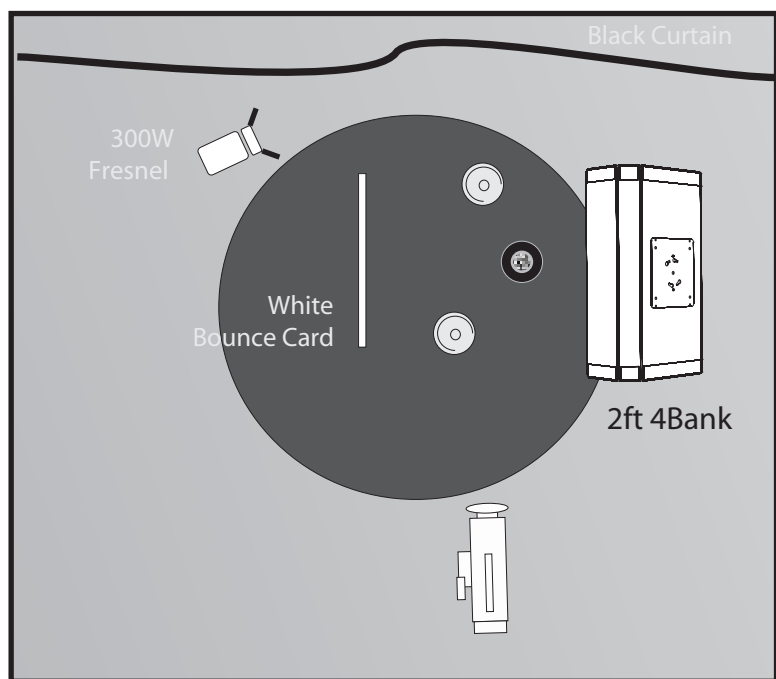


使用器材

2ft 4Bank × 1台

トータル電流値 4.0(A)

## Table Top: Mixed Objects







**KINO FLO® LIGHTING SYSTEMS**

Kino Flo, Inc.  
2840 North Hollywood Way  
Burbank, CA 91505  
Tel: 818 767 6528  
Fax: 818 767 7517  
[www.kinoflo.com](http://www.kinoflo.com)